



編集発行：中津川市議会

住所：岐阜県中津川市かやの木町2番1号

電話：0573-66-1111

<http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp>

平成27年 中津川市議会 3月定例会



保育園入園式



合併10周年記念式典



世代交流さわやか芸能フェスティバル

----- 目 次 -----

平成 27 年度当初予算	②
主な議案	④
予算決算委員会報告	⑦
常任委員会報告	⑧
特別委員会報告	⑨
一般質問	⑩
議会活動報告	⑪

トピックス

- **平成27年度一般会計当初予算**
361億9,900万円（前年度比0.4%減）定住人口の増加・リニアに向けたまちづくりに取り組む！
- **一般会計補正予算・・・31億39万円を可決**
プレミアム付商品券発行・・・150,000千円
地域振興基金積立・・・2,001,017千円

平成27年度当初予算

予算決算委員会報告（3月17日～20日）

一般会計、特別会計及び企業会計の総額は、748億4,293万2千円で前年度より少し減額です。厳しい財政状況の中、人口減少に歯止めをかけ市の活力を維持していくため、定住推進を一つの柱とする総合的な事業展開と、リニア時代を見据えた市の基礎固めに取り組む事業が主なものとなっています。

一般会計	36,199,000千円
特別会計	
・ 国民健康保険事業会計	9,578,079千円
・ 駐車場事業会計	16,001千円
・ 下水道事業会計	2,302,460千円
・ 簡易水道事業会計	837,267千円
・ 農業集落排水事業会計	684,957千円
・ 特定環境保全公共下水道事業会計	1,517,733千円
・ 介護保険事業会計	7,695,367千円
・ 個別排水処理事業会計	8,954千円
・ 後期高齢者医療事業会計	944,119千円
企業会計	
・ 水道事業会計	2,753,318千円
・ 病院事業会計	12,305,677千円
合 計	74,842,932千円

各部の主な取り組みと議会の所見

総務部

- ◇施設の統廃合により維持管理費を削減します。
- ◇市役所本庁舎の耐震化に向けた実施設計を行います。
- ◆施設の統廃合などは、市民の意見をよく聞き、進めてほしい。

企画部

- ◇必要な事業には国・県の補助金を活用します。
- ◇将来世代の負担である借金を減らします。
- ◆財政計画に沿った健全な財政運営を望みます。

定住推進部

- ◇市民が地域の課題と向き合い、課題解決に向けた取り組みに対し支援を行います。
- ◇苗木交流センターを今年度中に完成し供用開始します。
- ◆活力あるまちづくりに努めてください。

リニア都市政策部

- ◇リニア駅周辺の面的整備や道路整備等の計画策定に取り組みます。
- ◇リニア駅へのアクセス道路の概略設計などを進めます。
- ◆リニア時代を見据えたまちづくりの始まりです。しっかりと頑張ってください。

- ◇…各部の主な取り組み
- ◆…議会の所見

健康福祉部

- ◇「健康都市なかつがわ宣言」に沿って、ひとりではなく行政、地域、関係団体などの連携のなかで取り組む環境を作っていきます。
- ◆「自らの健康は自らがつくる」が基本です。市民に早く浸透させてください。

生活環境部

- ◇福岡地区で新衛生センターの建設を始めます。
- ◇リサイクル施設建設工事に着手します。
- ◆念願の両事業です。地元調整を充分行ってください。

商工観光部

- ◇リニア開業を見据え、首都圏や都市部に本市の魅力ある特産品を売り込むため、特産品の定義付けや販路拡大を進めます。
- ◇首都圏等から本社機能や中核的研究開発機能等を誘致するため、市有地や民間遊休地等の企業誘致適地調査、企業情報の収集、立地可能性を調査します。
- ◇新図書館建設予定跡地の活用について、基本調査と構想を策定します。
- ◆中津川市を売り込むためにも、企業誘致や特産品のPRが重要です。本腰を入れた取組みに期待します。

農林部

- ◇新規就農者を支援します。
- ◇生産性の高い農業経営体をめざし支援します。
- ◇地域産出木材の利用拡大を図るため、産直住宅の建設や普及活動の支援などを行います。
- ◆市独自の事業展開に期待します。

基盤整備部

- ◇青木斧戸線の道路新設工事に着手します。
- ◇神坂PAスマートICの概略設計図を作成します。
- ◆ようやく着手できます。地元調整を行い、進めてください。

消防本部

- ◇付知分団の3カ所の器具庫を1カ所に統合して建築します。
- ◇福岡分団の2カ所の器具庫を統合するための用地を購入します。
- ◆消防団との連携を強化して下さい。

文化・スポーツ部

- ◇苗木城跡を歴史資源と観光資源の両面から磨きをかけていきます。
- ◇公民館活動を盛んにするリーダー的な人材を地域で育てていくための支援を行います。
- ◆人づくりも大事です。しっかり磨いてください。

教育委員会

- ◇放課後児童クラブ(南、東、坂下をそれぞれ)の小学校校舎の教室等を改修して移転します。
- ◇西小学校校舎の大規模改修を行います。
- ◆子供は宝です。安全で安心して学力向上ができるよう一層の取組みに期待します。

水道部

- ◇坂本処理区4640m、中津川処理区2640m、下水道管渠を敷設します。
- ◇上水道恵下第2配水池を耐震化と緊急時対応可能に整備します。
- ◆早急な完了を図って下さい。

病院事業部

- ◇4月1日より市民病院の産科医師を確保して、里帰り出産の受入れ再開や分娩制限を解除します。
- ◆多くの赤ちゃん誕生に期待します。

議会の取組み

- 国の進める「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って、地域や企業などと連携し、議会もしっかり議論を重ね、市の特色を生かした「中津川版総合戦略」となるよう策定・推進・効果検証等、各段階で提言をしていきます。

3月定例会市議会は、初日に公平委員会委員の選任など13件を原案どおり可決し、平成27年度一般会計当初予算など34議案を所管の委員会に付託しました。26日の最終日は、付託した34議案と新たに議員が提出した1議案を原案どおり可決しました。

中津川市公平委員会委員の 選任同意

(全会一致)

小倉忠雄さんの任期が平成27年3月31日に満了となりますので、引き続き選任するものです。



小倉忠雄さん

中津川市教育委員会委員の 任命同意

(全会一致)

松田幸博さんの任期が平成27年4月1日に満了となりますので、引き続き任命するものです。



松田幸博さん

人権擁護委員候補者の推薦

(全会一致)

深津一さんの任期が平成27年6月30日に満了となりますので、新たに山内和幸さんを推薦するものです。



山内和幸さん

指定管理者の指定

(全会一致)

- ① 指定管理施設
中津川市ふれあい牧場
- ② 指定期間
平成27年4月1日～
平成30年3月31日
- ③ 指定管理者
株式会社 セツ平高原



教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定

(全会一致)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育委員長を教育長に一本化するなどのため制定するものです。

中津川市職員定数条例等の 一部改正

(全会一致)

教育長が特別職となったことにより関連する条例を改正するものです。

中津川市職員の給与に関する条例及び中津川市技能労務職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正

(全会一致)

人事院勧告に基づき、給料を平均2%引下げ、通勤手当を平均9%引上げなど給与制度の総合的見直しを行うため改正するものです。

中津川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

(全会一致)

暦年で管理している職員の年次有給休暇などを年度の管理に変更するため改正するものです。

中津川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

(賛成多数)

専門知識を活かし、重点課題に積極的かつ柔軟に対応できる人材を登用するため制定するものです。

中津川市職員の退職手当に関する条例の一部改正

(全会一致)

国家公務員退職手当法の一部改正に伴い、退職前の職責に応じて調整額を引上げるため改正するものです。



中津川市公民館の設置等に関する条例の一部改正

(全会一致)

公民館施設の管理と運営を指定管理者に行わせることができるよう改正するものです。

中津川市特別用途地区建築条例の一部改正

(全会一致)

建築基準法施行令の一部改正に伴い、条文の整理をするため改正するものです。

中津川市病院事業の設置等に関する条例等の一部改正

(全会一致)

阿木診療所を中津川市国民健康保険の直営診療所とするため改正するものです。

中津川市簡易水道事業給水条例の一部改正

(全会一致)

経営の安定を図ることを目的として、小規模水道事業を隣接する簡易水道事業に統合するため改正するものです。

中津川市防災行政無線通信施設等の設置等に関する条例の一部改正

(全会一致)

防災行政無線を全市一本化したことに伴い、蛭川地区有線放送設備の廃止などを行うため改正するものです。

損害賠償の額の決定

(全会一致)

①平成25年10月、市民病院での子宮内容除去手術において、身体的・精神的苦痛を与えたことに対して責任を認め、損害賠償金を支払うものです。

・損害賠償金額 5千12万円

②平成25年12月、国保坂下病院での十二指腸切除手術において、身体的・精神的苦痛を与えたことに対して責任を認め、損害賠償金を支払うものです。

・損害賠償金額 3千6百万円

市道路線の認定

(全会一致)

・認定路線……坂本286号線

市道路線の変更

(全会一致)

・変更路線……中津494号線

北部辺地に係る総合整備計画

(全会一致)

①計画区域

中津川市北部地域（加子母）

②計画期間

平成27年度～平成31年度

③計画内容

道路整備・消防施設整備事業

下浦辺地しもべに係る総合整備計画

(全会一致)

①計画区域

中津川市下浦地域（付知）

②計画期間

平成27年度～平成31年度

③計画内容

道路整備事業

新市建設計画の変更

(全会一致)

計画期間の終期を平成31年度まで延長するものです。

中津川市都市計画マスタープラン

(全会一致)

都市計画法の規定に基づき、市の都市計画に関する基本的な方針を策定するものです。

①主な策定内容

将来都市構造・分野別の方針・地域別構想・計画の実現化方針

②計画期間

平成27年度～平成38年度

中津川市消防団条例の一部改正

(全会一致)

消防団員の手当を活動実態に応じて支給するため改正するものです。

中津川市国民健康保険条例の一部改正

(全会一致)

国民健康保険法施行令の改正に伴い、保険料の賦課限度額の引上げと低所得者に対する保険料軽減の対象世帯を拡大するため改正するものです。

中津川市介護保険条例等の一部改正

(全会一致)

介護保険法施行令の一部改正に伴い、第一号被保険者の基準段階(基準月額)を4700円から5100円にするなど、平成27年度から平成29年度までの介護保険料を改正するものです。

※下表を参照してください。

中津川市議会委員会条例の一部改正

(全会一致)

市議会議員の定数が24人から21人に減少することに伴い、各委員会の定数などを改正するものです。

介護保険の所得段階基準割合と月額の保険料

平成24年度～平成26年度			
所得段階	基準割合		月額 (円)
	国	市	
第1段階	×0.50	×0.45	2,115
第2段階	×0.50	×0.50	2,350
特例 第3段階	×0.75	×0.60	2,820
第3段階	×0.75	×0.70	3,290
特例 第4段階	×1.00	×0.85	3,995
第4段階 (基準段階)	×1.00	×1.00	4,700
第5段階	×1.25	×1.25	5,875
第6段階	×1.50	×1.50	7,050
第7段階	×1.50	×1.60	7,520



平成27年度～平成29年度			
所得段階	基準割合		月額 (円)
	国	市	
第1段階	×0.50	×0.50	2,550
第2段階	×0.75	×0.65	3,315
第3段階	×0.75	×0.75	3,825
第4段階	×0.90	×0.90	4,590
第5段階 (基準段階)	×1.00	×1.00	5,100
第6段階	×1.20	×1.20	6,120
第7段階	×1.30	×1.30	6,630
第8段階	×1.50	×1.50	7,650
第9段階	×1.70	×1.70	8,670

賛否の分かれた議案の議決結果

議案	会派氏名	新政会					緑政会					地域			市民ク		ネット		公明		無		議決結果		
		楯公夫	松浦高春	鈴木雅彦	深谷勲	粥川茂和	三浦八郎	伊佐治由行	鷹見憲三	吉村俊廣	深谷明宏	大堀寿延	勝彰	柘植達樹	岡崎隆彦	吉村浩平	吉村久資	櫛松直子	牛田敬一	佐藤光司	片桐光朗	鈴木清貴		田口文数	原昌男
平成27年度 中津川市一般会計予算		○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
中津川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について		○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

※ 地域:地域を考える会、市民ク:市民クラブ、ネット:市民ネット21、公明:市議会公明党、無:無会派

予算決算委員会報告

(2月26日)

平成26年度3月補正予算の概要

下記の6つの編成方針により、予算が計上されました。

- | | |
|---------------------------|---------------|
| ①国の経済対策による補正予算等を受けて実施する事業 | ④寄附金を財源とする事業 |
| ②地方創生交付金を活用して行う事業 | ⑤基金積み立てのための事業 |
| ③市単独の経済対策事業 | ⑥緊急対応が必要な事業 |

■補正を行う会計

●一般会計	3,100,392千円
●特別会計	
・国民健康保険事業会計（事業勘定）	△247,546千円
・国民健康保険事業会計（直診勘定）	1,915千円
・下水道事業会計	△83,640千円
・簡易水道事業会計	94千円
・農業集落排水事業会計	113千円
・特定環境保全公共下水道事業会計	236千円
・介護保険事業会計	720千円
・後期高齢者医療事業会計	1,000千円
●企業会計	
・病院事業会計	107,528千円
合 計	2,880,812千円

国の経済対策による補正予算等を受けて実施する事業

農地・担い手対策事業	小学校施設営繕事業
市有林整備事業	中学校施設営繕事業

地方創生交付金を活用して行う事業

プレミアム付商品券発行事業	特定不妊治療費助成事業
地方版総合戦略策定事業	若者の地元定着推進事業
地域情報システム整備事業	1000年の森磨き上げ事業
なかつがわ体験住宅推進事業	企業誘致推進事業
コミュニティバス運行事業	観光推進事業
遠距離バス通学運賃補助事業	体験型観光推進事業
雇用対策事業	外国人観光促進事業

寄附金を財源とする事業

ふるさとづくり応援基金積立金
しあわせづくり基金積立金
美術館建設及び美術品等取得基金積立金
小学校運営事業
中学校運営事業
図書館資料管理事業

緊急対応が必要な事業

総合支援給付事業
畜産センター管理事業
市有林整備事業
観光事業
損害補償金（病院事業会計）
医療機器整備事業（病院事業会計）

基金積み立てのための事業

地域振興基金積立金
公共施設整備運営基金積立金
リニア中央新幹線まちづくり基金積立金

市単独の経済対策事業

道路維持補修事業
道路改良事業
交通安全施設整備事業
排水路改修事業

常任委員会報告

◆総務企画委員会

1月30日

【所管事務調査】（企画部）

○市税の現状と見通しについて

歳入の大きな割合を占める「市税」について調査しました。

現状・課題と見通し

- ① 税収全体としては、横ばいであるが、高齢化や人口減少の影響が市民税などに表れてきています。
- ② 課題は、女性が安定的に就業できる事業所確保や企業誘致と連携して、労働力確保に配慮した移住策などです。
- ③ 今後の10年を見通した税収は、低く推移すると見込まれ、各事業を効果的に税収に反映させるために、利便性の高い街の形成や規制緩和等による政策的誘導で民間投資を巻き込み資産価値を高める配慮が必要となります。

委員会のまとめ

- ① 税の公平・公正性を基に、適正な税金の使い方を検討していただきたい。
- ② 税の立場から各部署に指標を提示するとともに連携を図り、各事業を推進していただきたい。

◆文教民生委員会

1月13日

【所管事務調査】（文化スポーツ部）

○中央公民館と図書施設の現状と今後の取組みについて

市民の方の利用度が高く、現状と今後の計画など現地視察を行い調査しました。

中央公民館の現状と今後の取組み

- ① 今年度、トイレやエレベーターの改修により利用が快適になりました。
- ② 今後は、地域づくりや市民が企画した講座の推進などを図っていきます。

図書施設の現状と今後の取組み

- ① 苗木を除き、各地域に図書施設が整備され入館者や貸出冊数も伸びました。
- ② 今後は、ボランティア育成や全市をひとつの図書館として構築していきます。

委員会のまとめ

中央公民館と中央図書館の利用は活発であるが、各地域の図書施設の利用に温度差があり、全市を大きな図書館として活用できるよう取り組んでいただきたい。

◆産業建設委員会

1月26日

【所管事務調査】（リニア都市政策部）

○今後の都市計画について

リニア中央新幹線による社会情勢の変化に対応するための都市計画が大きなテーマであり調査しました。

都市計画マスタープラン（素案）

将来の都市像やまちづくりの目標を実現するために、土地利用や都市施設の方針等を明らかにする計画で、まちづくりの指針としての役割を果たすものです。

都市交通マスタープラン（素案）

交通環境再構築の施策を効率的・効果的に進めていくために策定するものです。

都市交通アクションプラン（素案）

都市交通マスタープランを効果的に実現するために、短中期に取り組む施策の内容と実施方法を定めるものです。

委員会のまとめ

将来の都市づくり計画として、市民に説明し、産業・観光の振興、移住定住に繋がるよう取り組んでいただきたい。

特別委員会報告

◆リニア中央新幹線対策特別委員会

2月10日

○リニア中央新幹線等の最近の動向

中津川市にとって重要な事業であり、調査しました。

最近の動き

- ① JR東海による事業説明会に918人が参加されました。
 - ② リニア岐阜県駅周辺整備協議会で、リニア駅前広場・美乃坂本駅との連絡通路・濃飛横断道路からの進入道路について協議されました。
 - ③ リニア中央新幹線建設について基本合意書、用地取得の業務委託に関する協定書がJR東海と岐阜県において締結されました。
 - ④ 昨年、中津川市・恵那市の両市長が県知事にリニア関連事項及び両市の都市間道路について要望しました。
- 委員会のまとめ**
- 今後も進捗状況を注視し、提言していきます。

◆議会改革特別委員会

1月13日・3月17日

○議会改革の取り組み内容

- ① 中津川市議会基本条例運用基準
議会基本条例の施行に伴い、運用に関して必要な事項を定めました。
 - ② 議会への直行便
市民の皆様から、直接ご意見を頂けるよう議会ホームページ上に設置しました。
 - ③ 議会運営の効率化
情報通信機器（パーソナルコンピュータ、タブレット端末、スマートフォン、携帯電話等）を用いて運営の効率化を図ります。
 - ④ 委員会・特別委員会インターネット中継
平成27年度より、ライブ及び録画を放映しています。
- 委員会のまとめ**
- 自治体の自立に対応できる議会として、引き続き議会改革を推進していきます。
- また、常に市民の意思や社会情勢の変化等を勘案し、必要に応じて議会基本条例の見直しを行っていきます。

議会・委員会

「録画中継」しています

インターネットで、議会本会議の映像を「生中継」しています。

4月1日より、常任委員会・特別委員会の「録画中継」も始めています。

スマートフォンやタブレット端末などからも視聴できますので、ぜひご覧ください。

☆視聴方法☆

◎中津川市ホームページ内の中津川市議会

(<http://www.city.nakatsugawa.gifu.jp/council/>)の映像配信をクリックしてください。

※ 配信される映像及び音声は、中津川市議会の公式記録ではありません。

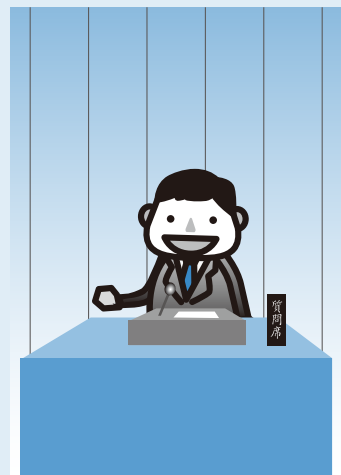
(後日、公開する会議録をご参照ください。)



一般質問 ここが知りたい！

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は 13 人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録（6月初旬公開予定）」をご覧ください。



答



（生活環境部長）

①平成24年度実態調査でのリサイクル率は、17・9%で県下21市中16位という結果です。今後は、新たな資源ごみの品目を増やしたり、資源回収奨励金制度やリサイクルボックスの整備、市民への周知徹底などに取り組んでいきます。

②雑紙・衣類を新たな資源ごみとして回収する取組みを平成27年度中から実施していきます。

問

ごみの減量化について



牛田 敬一

本市の家庭ごみ排出量は、市民1人当たり1日、811gと県下最下位になっています。

①ごみのリサイクル率が県下で低い値となっていますが、現状と対策を伺います。

②燃えるごみの内、41%を占めている雑紙と布類のリサイクル率を高めることが必要と考えます。具体的な施策について伺います。

答



（教育委員会事務局長）

①保育園では、家庭の状況や希望園などを確認し、できる限り保護者の意向に沿えるようにしっかり対応しています。

②保育園の中途入園児は、平成25年度146人、平成26年度134人となっています。

待機児童は、平成25年度17人、平成26年度1人となっています。

③私立園と協力して、中途での入園希望に対応できるように努めています。

問

定住促進として、中途における入園について



佐藤 光司

年度途中で転入し、保育園に入園希望したが、今すぐに対応できないとの話を聞きました。親の都合で転勤される方も今後多く見込まれます。年度途中の幼稚園や保育園への入園問題があると思います。

①現在の対応を伺います。

②近年の事例件数を伺います。

③今後の対応策を伺います。



田口 文数

地方創生戦略の推進について

地方創生のカギは地方が自立し、まちづくりを推進していくことが重要です。

①企業からの資金提供により、地元就職した場合、償還金を一部免除できるような奨学金制度を作る考えはありますか。

②国内外に売り出す観光戦略はありますか。

③移住・就職支援のため、ワーカーサポートセンターと連携した支援センター開設の考えはありますか。

答

①企業の人材確保に有効な制度であり、若者の職場選択肢の拡充の取組みの中で調査研究していきます。

②国内では下呂・木曽地域との連携、海外には自転車ガイドツアーの売込みを行っています。

中長期的にはリニア駅や車両基地を観光に結びつけるよう取り組んでいきます。

(商工観光部長)

③ワーカーサポートセンターとのさらなる連携の形を研究します。

(定住推進部長)



松浦 高春

中津川市の少子化対策について

市総合計画12年間のまちづくりがスタートします。今後大幅な人口減少が予想される中、少子化対策と人材育成について伺います。

①子育て支援調査結果から、保護者のニーズを伺います。

②総合計画基本構想から当市の子育て理念・方針・目標などについて伺います。

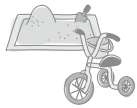
答

①保護者のニーズは、安心して産み育てることのできる医療体制の充実。安全安心に過ごせる居場所の充実。幼稚園・保育園の充実の順となっています。また、延長保育、未満児保育なども高くなっています。

(教育委員会事務局長)

②学び・活かす市民を目指す市民像を掲げ、よく学び、じっくり考え、判断し、行動する市民づくりを理念としています。

乳幼児期及び学齢期の子どもには、生活・学習の基礎基本の習得とたくましい子の育成を方針として、子どもたちのよりよいひとりだちを目標としています。



(教育長)



吉村 俊廣

地方創生について

今回の地方創生法では、国は都道府県と市町村に地域の特性を踏まえた地方版の人口ビジョンと総合戦略の策定をお願いするとありますが、当市はどのように策定しますか。

答

市総合計画前期実施計画は、まち・ひと・しごと創生法の基本理念を踏まえて策定しています。

戦略事業は、当市の一歩の売りであるリニアを前面に出し、定住推進とリニアを見据えた施策の2つに重点を置いています。

さらには、リニア駅を有する当市の役割である広域連携にも視野を置いて策定していきます。

(企画部長)





吉村 浩平

シティープロモーションの今後について

シティープロモーションとは、市民の方がこの地域のじまんを外へ発信することで中津川に住んでもらい、人口を増やすことだと認識しています。

①市街地を訪れた方に、おもてなしの心をどのような形でシティープロモーションを行っていきますか。

②新図書館の建設予定跡地を活用するための基本調査の具体的な内容を伺います。

答

①誰もが使いやすい施設・無料でインターネットに接続できるサービスなどの環境整備やパンフレット等の多言語対応・相談窓口充実のほか、私達自身による魅力の再発見も大切と考えています。

(定住推進部長)

②中心市街地の核となる複合交流施設で、効果が高く魅力ある機能の集積と、にぎわいプラザ・中山道資料館・青柳記念館など既存施設の統合なども含めて検討したいと考えています。

(商工観光部長)



原 昌男

リニア新幹線及び濃飛横断自動車道について

住居の立ち退きについて、これまで土地付き1戸建てに居住していた人は、本人が希望する限り相応の場所(利便が同じような場所)で、1戸建て住居が取得できるような補償をさせるべきですが、どのような考えか伺います。

答

建物等の補償については、できる限り地権者の方などの意向に沿えるようJR東海と県が協力し、適切に対応されるものと考えています。市も代替地の斡旋等の面で可能な限り協力していきたいと考えています。

(リニア都市政策部長)



問

問

平成27年度事業について

(中津川市の工業団地の考え方について)

岐阜県は、平成27年度から企業誘致課内に工場団地開発推進室(仮称)を新設し、市町村に300haの工場用地を整備してもらう方針という新聞報道がありました。

当市の工業団地の考え方と絞り込みの進捗状況について確認いたします

答

昨年12月に茄子川地域振興財団と協定を締結し、働く場所・住む場所の創出について協議を進めています。

工業団地の候補地となる場所については、中央自動車道中津川ICや主要道路からの利便性といった企業側の視点、造成や附帯工事費などの財政的視点や地域の環境面から検討しています。



(商工観光部長)



吉村 久資



片桐 光朗

「学校給食調理場はセンター化ではなく現行の共同調理場方式の拡大で」について

学校給食は、センター化ではなく現行の共同調理場方式を拡大することで、厳しくなる財政に対応してもらいたいと願います。

各地域の学校に調理場があることは、教育・防災面から見て極めて意義があり、当市が子どもを大切にしていることだと私は誇りに思っています。

① 現行の方式をどう評価していますか。
② 調理場のセンター化を考えていますか。

① 当市の学校給食は大変おいしいと評価され、子どもたちの食育に良い効果が表れています。現在の調理場には老朽化等の課題が多く、一定の集約した改修が必要な状況です。

② 当市は、広範囲であり、調理場を一箇所に集約することは考えていません。

平成27年度に、安全・安心な調理場施設のあり方、配送時間、経済性など総合的に考慮して調理場の整備を計画していきます。

(教育委員会事務局長)



大堀 壽延

美乃坂本駅西側の踏切について

県道苗木恵那線の美乃坂本駅西側踏切は、通勤・通学者だけでも1日千百人以上で、多数の利用者があります。また、県道幅員も狭く大変危険な状況です。

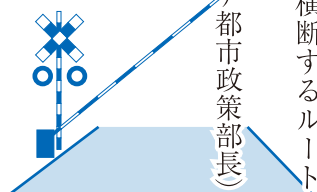
① 区民の安心・安全の観点から踏切を廃止し、立体化を強く望みますが、考えを伺います。

② リニア中央新幹線で分断される県道苗木恵那線の代替え道路の考えを伺います。

① 踏切は、歩行者・自転車の動線としての機能を確保する必要があると考えています。その手法として踏切廃止や立体交差等を含め、岐阜県など関係機関と協議しながら検討を始めたところ です。

② 県道苗木恵那線の代替道路は、周辺の地形等を勘案しながら、現在より西側において、リニア中央新幹線及び中央本線を横断するルートで代替道路を検討しています。

(リニア都市政策部長)



岡崎 隆彦

移住・定住について

当市の定住人口は、県内40番目で転出超過者が多いと新聞報道されていました。

市の魅力を拡大して、定住人口を増やすことが必要です。子育て支援も大きな魅力であり、高等学校教育は、次世代を担う子ども達への将来の投資でもあります。金銭的にも教育を受ける機会の均等も図るべきと思います。

そこで、高校への通学バス助成金の増額を検討していただませんか。

高校バス通学助成制度は、学びの環境整備として組み立てたものですが、現在の状況の中では、少子化対策の充実という視点もありますので、他の施策と併せて検討していきます。

また、公共交通におけるバス事業、若者の利用という側面も考慮していきます。

(定住推進部長)





深谷 明宏

新斎場建設促進事業について

新斎場建設について、地元交渉を断念したと報告を受けました。

①新斎場建設が先送りされ、合併特例債を活用できなくなったことによる市単独費の増加分を伺います。

②現斎場の耐震化事業費を伺います。

③合併特例債発行期限の平成31年度末までに新たな地で供用開始できるよう、取り組む気はないのか伺います。

答

①建設事業費の総額は、約16億円と積算しており、そのうち市単独の増加分は、合併特例債に当たる約5億5千万円と試算しています。

②耐震費用は、約5千5百万円と試算しています。

(生活環境部長)

③地元調整が整い、6月議会の補正予算で議決いただければ可能だと思います。実際には、地元との調整に時間がかかると思われる、現状では困難と考えています。

(理事)



伊佐治 由行

リニアを見据えたまちづくり、次世代へつなぐについて

当市にとってリニア中央新幹線開業は、移動時間の大幅な短縮、人々の交流機会の増大、産業立地の優位性など大いに活性化するものと期待します。

一方で、リニア開業によるストロー現象などマイナス面の影響も懸念されます。

そこで、リニア開業を見据え、総合計画基本構想における12年間の取組みの方向・視点について、伺います。

答

リニアの波及効果を活かしきることが、当市の未来を明るくするために最も重要です。

リニアを見据えた施策と人口減少を少しでも食い止める定住推進の取組みを重点的に進める必要があります。そのことが基本構想の実現につながると考えております。

こうした取組みを戦略的に進めるためには、健全財政の推進が前提となることから、併せて、財政改革に職員一丸となって取り組んでいきます。

(企画部長)



平成26年度 議会と市執行部



地元代表者による要望

神坂P Aスマート I C設置促進 議員連盟への地元要望

12月19日・24日、平成神坂村会議（神坂地区・馬籠地区）曾我隆夫会長ほか地元の関係団体代表者の皆様が、神坂P Aスマート I C設置に向けて、議会に対して要望活動がありました。

24日には、議員全員で組織する神坂P Aスマート I C設置促進議員連盟を開催し、この要望を受けると共に、基盤整備部よりスマート I Cの現状と経過の説明を受けました。

東濃・飛騨市議会議長会議

1月27日、中津川市健康福祉会館で東濃・飛騨市議会議長会議を開催しました。

この会議は、東濃5市・飛騨3市の議長、副議長全員が出席し、各市が協働して調査・研究や情報交換を行うことを目的に、年2回各市を会場に開催しており、今回は中津川市での開催となりました。

会議では、27年度予算案などが承認され、その後、濃飛横断自動車道及びリニア中央新幹線岐阜県駅予定地等の市内視察に出かけ、リニアについての情報交換を行いました。



岐阜県駅予定地をのぞむ



100人以上が参加した東濃ブロック研修会

東濃ブロック研修会

東濃5市の市議会議員が一堂に会し、調査活動を行うことを目的に、毎年冬季に開催しています。

今年は、中津川市が当番市となり、2月13日、健康福祉会館で、東京財団より吉原祥子研究員を講師にお迎えし、近年外国資本が、北海道等の森林を買収するなどの事例が増えていることから、土地の所有と利用実態など、現状と課題について研修会を行いました。

参加した議員は、大変身につまされる話だと聞いていました。

岐阜県市議会議員議長会議

2月6日、多治見市セラミックパークMINOで第273回岐阜県市議会議長会議が開催され、県下21市の議長、副議長全員が出席しました。

会議では、27年度予算案と事業計画などを承認し、瑞浪市と下呂市より「リニア中央新幹線及び北陸新幹線の整備に伴う岐阜県内の道路網整備について」など3議案が提案され、全会一致で、国・県に対し強く要望することを可決しました。

講演会では、古川雅典多治見市長により、「議決がなければ何もできない」と題して、自身の経験を踏まえ市政への考えを講演いただきました。

来年は、当市での開催となります。



講演会の模様

青木斧戸線道路新設工事 今後のスケジュールを確認

議員全員で組織する青木斧戸線早期建設促進議員連盟を、2月10日、開催し、「青木斧戸線道路新設工事の今後のスケジュールについて」基盤整備部より説明を受けました。

スケジュールは、26年度までに詳細設計を完了し、27年度より用地買収を進めると同時に、国道257号青木交差点側より工事に一部着手します。

28年度より本格的に新設工事を進め、30年度完成予定を議員全員で確認しました。



駒場地区より国道19号方面をのぞむ（イメージ図）



青木交差点より国道19号方面をのぞむ（イメージ図）

議会活動報告

12月25日から3月26日までの間に市議会本会議を含む32回の会議が開催されました。

（ ）は開催回数です。

本会議	（4）
総務企画委員会	（2）
文教民生委員会	（2）
産業建設委員会	（3）
予算決算委員会	（5）
議会運営委員会	（6）
リニア中央新幹線対策特別委員会	（1）
議会改革特別委員会（協議会含む）	（5）
議員全員協議会	（1）
議員連絡協議会	（2）
青木斧戸線早期建設促進議員連盟	（1）



苗木城跡

編集後記

○今回で編集委員を退任いたします。

○一年間、ありがとうございました。

委員長 鈴木清貴
委員 岡崎隆彦
委員 吉村浩平
委員 牛田敬一